

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

2022年度 授業内容(シラバス)

総合デザイン学科 グラフィックデザインコース 専門教育科目

科目名	教員名	授業形態	年次
デザイン論Ⅰ	平田 正行	講義	1
デザイン論Ⅱ	平田 正行	講義	1
印刷論	喜多 茂博	講義	1
キャリアプログラムⅠ	津田 光明	講義	1
PC基礎	檜垣 平太	演習	1
PC基礎	劉 相孝	演習	1
アプリケーション演習	劉 相孝	演習	1
アプリケーション演習	劉 相孝	演習	1
プレゼンテーションⅠ	津田 光明	演習	1
GD基礎	喜多 茂博	演習	1
GD媒体	喜多 茂博	演習	1
GD媒体	喜多 茂博	演習	1
フォトデザインⅠ	藤原 純子	演習	1
フォトデザインⅠ	藤原 純子	演習	1
フォトデザインⅠ	藤原 純子	演習	1
色彩演習Ⅰ	高安 勲	演習	1
基礎造形	森村 誠	実習	1
基礎造形	森村 誠	実習	1
デッサン	高安 勲	実習	1
デッサン	大村 忠久	実習	1
デッサン	大村 忠久	実習	1
デザインスケッチ	畑 卓也	実習	1
グラフィックデザインⅠ	長尾 仁美	実習	1
デザイン各論Ⅰ	高濱 敦彦	講義	2
デザイン各論Ⅱ	高濱 敦彦	講義	2
キャリアプログラムⅡ	津田 光明	講義	2
キャリアプログラムⅢ	津田 光明	講義	2
GD研究	畑 卓也	演習	2
フォトデザインⅡ	藤原 純子	演習	2
フォトデザインⅡ	藤原 純子	演習	2
フォトデザインⅡ	藤原 純子	演習	2
DTPデザイン	喜多 茂博	演習	2
マルチメイク表現	畑 卓也	演習	2

科目名	教員名	授業形態	年次
マルチメイク表現	畑 卓也	演習	2
パッケージデザイン	津田 光明	演習	2
タイポグラフィー	長尾 仁美	演習	2
色彩演習Ⅱ	近藤 雅義	演習	2
デザイン計画と表現	長尾 仁美	実習	2
マスタードローイング	畑 卓也	実習	2
グラフィックデザインⅡ	喜多 茂博	実習	2
職業実践プログラムⅠ	長尾 仁美	実習	2
デザイン各論Ⅲ	長尾 仁美	講義	3
マスコミ媒体論	長尾 仁美	講義	3
プレゼンテーションⅡ	津田 光明	演習	3
Webデザイン	谷 明子	演習	3
Webデザイン	谷 明子	演習	3
コンセプトメイキング	高濱 敦彦	演習	3
スモールグラフィック	塩谷 麗子	演習	3
表現研究	畑 卓也	演習	3
インフォグラフィック	長尾 仁美	演習	3
エディトリアルデザイン	長尾 仁美	演習	3
グラフィックデザインⅢ	中谷 吉英	実習	3
職業実践プログラムⅡ	津田 光明	実習	3
GD総括実習	高濱 敦彦	実習	3
GD総括実習	平田 正行	実習	3
GD卒業制作	高濱 敦彦	実習	3
GD卒業制作	平田 正行	実習	3

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン論 I			教員名	平田 正行		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1 時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	6101

授業目的と到達目標

デザインとアートの違いを明確にして、デザインの役割を理解させる。

授業概要

専門用語・業界の基礎知識等を学ぶ。特に一番基本となる平面・色彩構成・立体構成・デザインの基礎知識を理解させる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	教員実務経験 菓子メーカー勤務デザイナー20年、広告代理店 24年の実務経験。グラフィックデザイナーとして、TVCF13 本プロデュース、パッケージデザインを約 800 点、パンフレットやチラシなど印刷物も 1,000 点以上制作。広告代理店では、主に交通広告とサイン関係を年間500点余りプロデュース。その他あらゆる広告媒体の制作。教え方の基本として「売れるデザイン」を前提に指導します。
受講態度	10%	
課題→採点（80%以上の提出）	40%	
出席度…10 講座の出席が基本	50%	
	%	
	%	

教科書

Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン論 I			教員名	平田 正行		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	1 時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	6101

授業計画（各回予定）

授業内容		
第 1 回	ガイダンス	アートとデザインの違い・業界の話
第 2 回	デザインの役割と必然性	売れるデザインと売れないデザイン
第 3 回	プロのデザイナーになるための 9 か条	
第 4 回	(基礎) 点・線・面の構成	造形の基礎理論
第 5 回	(基礎) 自由曲線・幾何学的形態	ルート 2 矩形と黄金矩形
第 6 回	(基礎) オーガニック形態	ヒューマンでナイーブなイメージを表現するには
第 7 回	(基礎) オートマチック形態	10 種類のオートマチックの表現方法
第 8 回	(基礎) 自然形態	アイソタイプ
第 9 回	(基礎) 人工形態ーその 1	ピクトグラムの色々な表現方法
第 10 回	(基礎) 人工形態ーその 2	ピクトグラムの制作方法
第 11 回	(基礎) 手クスチャーの表現	自然と日本文化のテクスチャー
第 12 回	(基礎) シンメトリー	種類と視覚的効果
第 13 回	(基礎) ディストーション	変形による効果的表現と座標変換
第 14 回	(基礎) イリュージョン	だまし絵・寄せ絵・遊び絵・文字絵の説明
第 15 回	(基礎) 錯覚について 透視図)	錯覚の修正と応用※遠近法 (1 点透視図・2 点透視図・3 点透視図)

受講上の注意

※全ての課題は鉛筆で描く程度の内容で、当日のテーマに沿った内容を理解させることに重点を置く。

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン論II			教員名	平田 正行		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	6102

授業目的と到達目標

基本的な技法や素材とデザインの制作手順を学ぶ。媒体別デザインの表現方法を理解し、デザインがどのように掲出されるかを理解する。

授業概要

色々な技法を学び、応用が利きデザインの幅が広がるように様にする。広告媒体を知ることで、自分のデザインの使われ方を学ぶ。意匠権・商標権は今後デザインを制作するにおいて避けては通れないことなので、不正競争防止法を含めた基礎知識を学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	菓子メーカー勤務デザイナー20年、広告代理店24年の実務経験。グラフィックデザイナーとして、TVCF13本プロデュース、パッケージデザインを約800点、パンフレットやチラシなど印刷物も1,000点以上制作。広告代理店では、主に交通広告とサイン関係を年間500点余りプロデュース。その他あらゆる広告媒体の制作。教え方の基本として「売れるデザイン」を前提に指導します。
受講態度	10%	
課題→採点（80%以上の提出）	50%	
出席度…10講座の出席が基本	40%	
	%	
	%	

教科書

Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン論Ⅱ			教員名	平田 正行		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	1時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	6102

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	(技法) デカルコマニー ある程度の仕上がり予測で偶発的な効果が生み出される。
第2回	(技法) グラデーション 点・線・面・色彩の階調、「ぼかし」や「にじみ」の効果。
第3回	(技法) フォトモンタージュ 写真を組み合わせで、表現の幅が広がる。
第4回	(技法) ペーパーレリーフ エンボス加工・トムソン型抜き・レーザー加工等について
第5回	(技法) コラージュ 絵具以外の特殊効果を表現するには…
第6回	デザインの素材について 紙見本・線材・金属・木見本等 画材以外の材料
第7回	広告媒体分類と売上について 媒体説明。
第8回	マスコミ4媒体について 新聞・雑誌・ラジオ・テレビの媒体特徴と訴求力
第9回	プロモーションメディアについて その1 屋外広告・交通広告の媒体特徴と訴求力
第10回	プロモーションメディアについて その2 新聞折込広告・DM・フリーペーパー・POP/その他媒体について
第11回	インターネット広告について 急成長の広告の媒体分類と表現方法。
第12回	形態からアイデアを広げる方法 単純な形態をベースに形を創る方法
第13回	キーワードからアイデアを広げる方法 キーワードの抽出と集約でデザインの方向性を出す方法
第14回	CI計画 VI以外のBIとMIの重要性
第15回	デザインの制作手順 良いデザインを作るには、最初が肝心。工業所有権について 特に意匠権・商標権と不正競争防止法の基礎知識

受講上の注意

※全ての課題は鉛筆で描く程度の内容で、当日のテーマに沿った内容を理解させることに重点を置く。今年より他校では教えていない「商業書道」を授業に追加します。和文に限らず欧文も筆を使いオリジナルのフォントを作れるようにします。

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	印刷論			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3301

授業目的と到達目標

印刷物の製作に必要な基本知識を知り、探求・考察・実用理論を構築し、印刷物のワークフローを知る。

授業概要

印刷の種類、特徴、役割について実践例を通じて体験し、実用的知識を修得する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務15年、フリー現役デザイナー23年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、グラフィックデザインに関わる印刷知識を指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	印刷論			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3301

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	印刷の基礎/印刷物の種類
第2回	印刷工程を学ぶ/映像・プリント配布
第3回	オフセット印刷の仕組みと基礎知識
第4回	紙の種類・サイズ・特殊印刷・加工のしくみ
第5回	カラーチャート製作
第6回	CMYKで色指定・DICカラー
第7回	ダブルトーン
第8回	ポストカード（2色分解）
第9回	印刷の基礎テスト
第10回	篆刻／落款(凸版印刷)
第11回	アイデア→篆刻制作
第12回	シルクスクリーン（孔版印刷）
第13回	名刺製作/フォント文字組み
第14回	特殊紙使用/断裁
第15回	総合プレゼン

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	キャリアプログラム I			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	1 時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	2102

授業目的と到達目標

①1年生の段階からキャリア形成を見据えた学習をし、より深みのある専門学習と視野の広い就業意識を持つ。②芸術系の学生が見落としがちなコミュニケーション能力を早い段階から育成する。

授業概要

本校で学ぶ学生が就職あるいは、よき社会人となる為に必要な視野の広さとコミュニケーション能力、就職力を育成する。ここで学ぶ基礎講座は全て就活に不可欠なプレゼンテーション力・ポートフォリオ作成・に向けた基礎的な学習と位置づけて展開する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経験を基に実践的な指導を行います。
出席率	90%	
レポート	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	キャリアプログラムⅠ			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	1時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	2102

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	◆Ⅰ基礎編（知る）Ⅱ応用編（考える）Ⅲ実践編（試す）の中の【Ⅰ基礎編】を展開 ガイダンス この授業で学ぶ事 学ぶ体制を整える ・グループ学習・ワークショップの理解 ・礼儀と作法・学びの応用と効果
第2回	シート記入 キャリコンシートの記載 ・今後のキャリアアドバイスをスムーズに進める手段 ・記載の説明 ・記載の目的と効果
第3回	就職とは… 働く（意味・対応・効果）を考える ・お金を稼ぐという事 ・自分のビジョンをイメージする 今迄～今後をグ ラフにする
第4回	仕事内容の理解 社会で働くということ ・自分に合った業種・職種・業務を考える ・インターンシップの必要性を考える
第5回	新聞の読み方 新聞の中から簡単な時事問題解説まで 一般常識を身に付けアイデア(商品・催し・体制)発想の基を探す
第6回	在校生に聞く パネルディスカッション ・この1年間で 学んだ事（パネルディスカッション） ・学校で学んだ事・後輩へ伝えたい事
第7回	一般常識テスト 常識テスト実施（テスト時間60分） ・テストフォロー ・テスト問題の解説と応用について
第8回	マナー 社会人に必要なマナーについて（服装・挨拶・言葉使い etc） ・『マナーが大切な訳?』をグループで討議
第9回	滑舌を学ぶ 言葉がハッキリしないと打合せや電話の際、正しく伝わらない・印象が変わる なぜ印象が重要? ・発声法と滑舌練習
第10回	報告・連絡・相談 重要性と応用を学ぶ ・(ホウレンソウ)の重要性と応用を学ぶ ・目的と効果 ・社会人必須 ビジネスワークの基本!!
第11回	電話のマナー 見えないからこそその留意点 ・いつ・誰が・誰に・どんな用件で ・私・・・の・・・と申します ・メールだって同じこと
第12回	伝達力を鍛える① 聴覚伝達 ・着席の列を利用し（事柄・時間・目的）を、どう伝える? ◆例:新幹線に乗り博多で…
第13回	伝達力を鍛える② 視覚伝達 ①取引先の会社名と担当者の名前 ②アポイントの時間 ③最前列から最後列に伝えるラリー
第14回	プロモーションカ 自己PR文の作成 ・自己分析を進め、自己PRとなる文章(300字)を書いてみる・今後、自己表現の文章として応用
第15回	授業で学んだこと この授業を通し学んだ事、感じた事 ・伸ばすべき箇所 改善すべき箇所 ・レポート作成（提出必須）

受講上の注意

社会人としてのモラルを身につける

特記事項

出席状況と、与件に対する創造的要素の理解と取り組みの姿勢を基にした総合評価とする。

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	PC基礎			教員名	檜垣 平太		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2119

授業目的と到達目標

PCによる画像制作アプリ（Adobe Photoshop・Illustrator）の基礎の習得。

授業概要

PC（macOS）環境の概要と、デジタル画像制作の必須ツールとなる Adobe Photoshop と Illustrator の基本オペレーションの修得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役グラフィックデザイナーが、デジタル環境での制作の基礎を指導します。
受講姿勢	50%	
技能習得	40%	
制作物とテスト	10%	
	%	
	%	

教科書

知識ゼロからきちんと学べる！Illustrator しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) 高野雅弘
 知識ゼロからきちんと学べる！Photoshop しっかり入門 出) SB クリエイティブ株式会社 著) まきのゆみ

参考書・参考文献

必要に応じてコピーにて代行する

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	P C基礎			教員名	檜垣 平太		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2119

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス/OS と周辺機器及びデータ管理、Photoshop・Illustrator というアプリケーションについて、Google アカウント作成
第2回	Illustrator/インターフェイスと基本操作（アートボード、ベジェ曲線の展開、色の指定）
第3回	Illustrator/線と塗り、パスやオブジェクトの編集（拡大・縮小、シアー、リフレクト、回転など）
第4回	Illustrator/図形やオブジェクトの操作（グループ、オブジェクトの整列、パスファインダ、マスク、グラデーション、透明）
第5回	Illustrator/文字ツールの操作方法
第6回	Illustrator/名刺の制作、文字組みとタイポグラフィ
第7回	Photoshop/インターフェイスと基本操作（画像処理法・保存形式、ペイントツールとしての機能展開）
第8回	Photoshop/ピクセルとシェイプ、レイヤー操作・効果、スマートオブジェクト
第9回	Photoshop/色調補正（レベル補正、トーンカーブ）、レイヤー効果、フィルタ等
第10回	Photoshop/マスク、スタンプ、修復、パッチツール
第11回	Photoshop/コラージュ作品の制作（写真加工、写真合成）
第12回	Illustrator&Photoshop/コラージュ作品を使用する際の DM 制作（Map 制作）
第13回	Illustrator&Photoshop/コラージュ作品を使用する際の DM 制作
第14回	テスト
第15回	合評

受講上の注意

●課題の提出期限厳守。●授業内の単位を取る為の課題と受け身の姿勢ではなく、自身の成長する為の課題と
思い取り組んでください。

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	PC基礎			教員名	劉 相孝		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3101

授業目的と到達目標

Illustrator・Photoshopの基礎を練習・修得する。PCをデザインツールとして扱える様取り組む。

授業概要

Illustrator・Photoshopの基本操作の修得のため、練習と作品制作を行う。特有の描画方法をマスターし、周辺機器の使用方法を学習する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のインタラクティブ・WEB・グラフィックデザイナーにより、デザインアプリケーションの基礎を中心に幅広く指導。
課題作品	70%	
出席・授業態度	30%	
	%	
	%	

教科書

Illustrator しっかり入門 出) SB クリエイティブ 著) 高野雅弘
Photoshop しっかり入門 出) SB クリエイティブ 著) まきのゆみ

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	P C基礎			教員名	劉 相孝		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3101

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	イントロダクション／コンピュータの基本操作、データ管理と周辺機器
第2回	Illustrator／インターフェイスと基本操作
第3回	Illustrator／線と塗り、パスとパスの編集
第4回	Illustrator／図形とオブジェクトの操作
第5回	Illustrator／文字とテキスト
第6回	応用・制作／名刺作成、文字組みとタイポグラフィー
第7回	Photoshop／インターフェイスと基本操作
第8回	Photoshop／ペイント機能
第9回	Photoshop／写真加工と色調補正
第10回	Photoshop／レイヤー操作とスマートオブジェクト
第11回	応用・制作／DM作成、アプリケーションの連携
第12回	応用・制作／画像フォーマットとカラーモード
第13回	応用・制作／印刷の色、モニタの色
第14回	応用・制作／仕上げとブラッシュアップ
第15回	合評・まとめ

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	アプリケーション演習			教員名	劉 相孝		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	1120

授業目的と到達目標

Illustrator・Photoshop の理解を深め、自由に使いこなし様々なものを創作できる様にする。デジタルデータを正しく理解し、周辺機器を使いこなす。

授業概要

Illustrator・Photoshop を使い様々なものを自由に作れる様、練習と作品制作を行う。アプリケーションの特性、メリット、デメリットを理解し、適切な機能を選択・組み合わせて制作する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のインタラクティブ・WEB・グラフィックデザイナーにより、デザインアプリケーションの活用と応用を中心に幅広く指導。
課題作品	70%	
出席・授業態度	30%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

Illustrator しっかり入門	出) SB クリエイティブ	著) 高野雅弘
Photoshop しっかり入門	出) SB クリエイティブ	著) まきのゆみ

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	アプリケーション演習			教員名	劉 相孝		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	1120

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	イントロダクション／システムとデバイス
第2回	ドロー系（ベクター形式）の特徴とベジェ曲線
第3回	オブジェクトの描画
第4回	スウォッチとパターン
第5回	アピアランスと3Dオブジェクト
第6回	ペイント系（ラスタ形式）の特徴と解像度
第7回	写真加工と非破壊処理
第8回	アルファチャンネルとマスク
第9回	切り抜き処理とクリッピングマスク
第10回	データ形式と画像フォーマット
第11回	応用・制作／印刷メディアのワークフロー
第12回	応用・制作／規定と規格
第13回	応用・制作／制作管理
第14回	応用・制作／仕上げとブラッシュアップ
第15回	合評・まとめ

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	アプリケーション演習			教員名	劉 相孝		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4301

授業目的と到達目標

Illustrator・Photoshop の理解を深め、自由に使いこなし様々なものを創作できる様にする。デジタルデータを正しく理解し、周辺機器を使いこなす。

授業概要

Illustrator・Photoshop を使い様々なものを自由に作れる様、練習と作品制作を行う。アプリケーションの特性、メリット、デメリットを理解し、適切な機能を選択・組み合わせて制作する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のインタラクティブ・WEB・グラフィックデザイナーにより、デザインアプリケーションの活用と応用を中心に幅広く指導。
課題作品	70%	
出席・授業態度	30%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

Illustrator しっかり入門	出) SB クリエイティブ	著) 高野雅弘
Photoshop しっかり入門	出) SB クリエイティブ	著) まきのゆみ

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	アプリケーション演習			教員名	劉 相孝		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4301

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	イントロダクション／システムとデバイス
第2回	ドロー系（ベクター形式）の特徴とベジェ曲線
第3回	オブジェクトの描画
第4回	スウォッチとパターン
第5回	アピアランスと3Dオブジェクト
第6回	ペイント系（ラスタ形式）の特徴と解像度
第7回	写真加工と非破壊処理
第8回	アルファチャンネルとマスク
第9回	切り抜き処理とクリッピングマスク
第10回	データ形式と画像フォーマット
第11回	応用・制作／印刷メディアのワークフロー
第12回	応用・制作／規定と規格
第13回	応用・制作／制作管理
第14回	応用・制作／仕上げとブラッシュアップ
第15回	合評・まとめ

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	プレゼンテーション I			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5302

授業目的と到達目標

各自の個性を尊重した上で社会的基本要素の話し方・態度・企画の仕組みや、伝達手段を体験し、伝えたい想いや考え方を分かりやすく端的に第三者に伝える為の行為として、必要な要素と手順を学び今後の実践に備える。

授業概要

企画の立て方から提案の手段までの基礎を学びます。伝達（コミュニケーション）の起承転結を基本的な実践を交えて体験し、伝達要素に不可欠な情報収集力・調査分析力・企画想像力・構成表現力・提案説得力・伝達態度や表情力など、流れに沿った総合的な認識を学びます。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経験を基に実践的な指導を行います。
製作物	60%	
企画提案	30%	
出席率	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し (手持ち資料で対応)

参考書・参考文献

特に無し (手持ち資料で対応)

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	プレゼンテーション I			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5302

授業計画（各回予定）

授業内容	
第 1 回	ガイダンス これから学ぶことの意味合いを共有認識する・伝達に関する「目的・まとめ方・伝え方」の基本作法を順を追って学ぶ・制作時間の割合を徹底認識する（企画 30% 製作 60% 補足 10%）・作業に必要な材料手配は前もって段取りすること
第 2 回	アイデア発想法 ・デザイナーが対応する基本的な「仕事の流れ」を認識する・モノの考え方と伝え方 得る言葉は「なるほど!」・プレゼンテーションまでの流れを企画要素（5W2H）を交えて学習する
第 3 回	マーケティング ・目的と効果予測を基にした市場調査 ・日頃から調査場所の準備が大切 ・インターネットは皆が見ている情報
第 4 回	◆商品企画（植物） 与件の説明 提案に向けた情報収集 情報の集め方（知識・売場・ネット） モチーフの調査/分析 特徴要素の発見 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする 作品のプレゼンテーション（企画提案書 A3 横置き 4/0）提出/合評
第 5 回	”
第 6 回	”
第 7 回	◆商品企画（動物） 与件の説明 提案に向けた情報収集 情報の集め方（知識・売場・ネット） モチーフの調査/分析 特徴要素の発見 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする 作品のプレゼンテーション（企画提案書 A3 横置き 4/0）提出/合評
第 8 回	”
第 9 回	”
第 10 回	◆商品企画（自由） 与件の説明 提案に向けた情報収集 情報の集め方（知識・売場・ネット） モチーフの調査/分析 特徴要素の発見 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする 作品のプレゼンテーション（企画提案書 A3 横置き 4/0）提出/合評
第 11 回	”
第 12 回	”
第 13 回	◆プロモーションチラシ 自分の中にある（知識・技術・感性）の活用手段を考える 渡す相手・目的・効果予測を考慮する 自分を売り込む際に相手に理解して貰うべき項目を A4 サイズ両面に創り込む。
第 14 回	”
第 15 回	総括 企画提案とプレゼンテーションに対する創造的取り組みの態度と制作物に対する創意工夫をもって評価とする

受講上の注意

出席は元より、与件に対する創造的取り組みのプロセスと動機付け・根拠に裏付けされた制作物の応用と対応を評価とし、総合的な個性・らしさの訴求効果をもって評価とする。一度採点を終えた作品について、バージョンアップを目的とした再提出は、随時受け付けます

特記事項

※与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書の表現的要素をもって評価とする。※課題は全て合評形式による発表とする

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD基礎			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4103

授業目的と到達目標

デザインの要素となる形態をデザイン・マテリアル（素材）を通して研究し、観察力・表現力・発想力・造形力を活かしたアイデア表現と、配色・文字・レイアウトなどのバランスを総合的に考えデザインの基礎を修得する。

授業概要

グラフィック表現におけるデザイン・マテリアル（素材）研究。デザイン媒体の素材、文字、画像、配色などの基本を知り、効果的な表現技術を活かし、デザインの基礎を修得する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務 15 年、フリー現役デザイナー 23 年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を中心に幅広く指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD基礎			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4103

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス/観察力・表現力・発想力を活かしたアイデア表現
第2回	ファクツラ/テクスチャ/フロタージュ
第3回	文字による発想表現
第4回	紙素材による表現力
第5回	アイデア表現
第6回	デザインの構造&基礎
第7回	タイポグラフィ/字間・行間
第8回	文字・ロゴ/バランスと構造効果
第9回	ハンドタオルトータルデザイン提案
第10回	ロゴ&マーク制作
第11回	パッケージ図面&W ダミー制作
第12回	パース2点透視スケッチ
第13回	ハンドタオルデザイン/配色とイメージ
第14回	販促物制作
第15回	プレゼン

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD媒体			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3102

授業目的と到達目標

GD基礎を基本に、各種媒体に触れ、ルールやスキルを学び、独自の表現力・創造力・技術力を追求する。

授業概要

グラフィックデザインの各種媒体における表現や技術を実践演習を通じて習得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務15年、フリー現役デザイナー23年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を中心に幅広く指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD媒体			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3102

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	アイデアの出し方(発想表現)
第2回	ロゴ・シンボルマーク
第3回	ピクトグラム
第4回	MAP 制作
第5回	図表・グラフ/写實的&デフォルメ表現
第6回	発想を形に（オリジナルドリンクラベル）
第7回	CD ジャケット→イメージ制作
第8回	カレンダー制作
第9回	書体のイメージ→制作
第10回	販促物制作
第11回	テーマカラーに基づいたPOP ツール
第12回	チラシ等紹介（テーマ・目的を明確に）
第13回	チラシ制作/伝わる大きさの決め方、余白の機能と活用
第14回	パッケージ制作/形状・図面
第15回	プレゼン

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD媒体			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3408

授業目的と到達目標

GD基礎を基本に、各種媒体に触れ、ルールやスキルを学び、独自の表現力・創造力・技術力を追求する。

授業概要

グラフィックデザインの各種媒体における表現や技術を実践演習を通じて習得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務15年、フリー現役デザイナー23年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を中心に幅広く指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD媒体			教員名	喜多 茂博		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	3408

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	アイデアの出し方(発想表現)
第2回	ロゴ・シンボルマーク
第3回	ピクトグラム
第4回	MAP 制作
第5回	図表・グラフ/写實的&デフォルメ表現
第6回	発想を形に（オリジナルドリンクラベル）
第7回	CD ジャケット→イメージ制作
第8回	カレンダー制作
第9回	書体のイメージ→制作
第10回	販促物制作
第11回	テーマカラーに基づいたPOP ツール
第12回	チラシ等紹介（テーマ・目的を明確に）
第13回	チラシ制作/伝わる大きさの決め方、余白の機能と活用
第14回	パッケージ制作/形状・図面
第15回	プレゼン

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2101

授業目的と到達目標

写真の基礎知識と技術の修得。

授業概要

写真の基礎知識（カメラメカニズム、現像、プリントの仕組と方法、基礎ライティング）を学習する。写真撮影、画像処理、プレゼンテーションを通して表現を学習する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席、作品、授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2101

授業計画（各回予定）

授業内容	
第 1 回	ガイダンス
第 2 回	基礎概論①
第 3 回	基礎概論②
第 4 回	基礎実践撮影
第 5 回	基礎実践画像処理、プレゼンテーション①
第 6 回	屋外ロケーション撮影
第 7 回	Photoshop 基本
第 8 回	プレゼンテーション②
第 9 回	ピンホールカメラ①
第 10 回	ピンホールカメラ②
第 11 回	ピンホールカメラ③
第 12 回	組写真撮影
第 13 回	Photoshop 応用①
第 14 回	Photoshop 応用②
第 15 回	プレゼンテーション③

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4324

授業目的と到達目標

写真の基礎知識と技術の修得。

授業概要

写真の基礎知識（カメラメカニズム、現像、プリントの仕組と方法、基礎ライティング）を学習する。写真撮影、画像処理、プレゼンテーションを通して表現を学習する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席、作品、授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	4324

授業計画（各回予定）

授業内容	
第 1 回	ガイダンス
第 2 回	基礎概論①
第 3 回	基礎概論②
第 4 回	基礎実践撮影
第 5 回	基礎実践画像処理、プレゼンテーション①
第 6 回	屋外ロケーション撮影
第 7 回	Photoshop 基本
第 8 回	プレゼンテーション②
第 9 回	ピンホールカメラ①
第 10 回	ピンホールカメラ②
第 11 回	ピンホールカメラ③
第 12 回	組写真撮影
第 13 回	Photoshop 応用①
第 14 回	Photoshop 応用②
第 15 回	プレゼンテーション③

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5117

授業目的と到達目標

写真の基礎知識と技術の修得。

授業概要

写真の基礎知識（カメラメカニズム、現像、プリントの仕組と方法、基礎ライティング）を学習する。写真撮影、画像処理、プレゼンテーションを通して表現を学習する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席、作品、授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザイン I			教員名	藤原 純子		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5117

授業計画（各回予定）

授業内容	
第 1 回	ガイダンス
第 2 回	基礎概論①
第 3 回	基礎概論②
第 4 回	基礎実践撮影
第 5 回	基礎実践画像処理、プレゼンテーション①
第 6 回	屋外ロケーション撮影
第 7 回	Photoshop 基本
第 8 回	プレゼンテーション②
第 9 回	ピンホールカメラ①
第 10 回	ピンホールカメラ②
第 11 回	ピンホールカメラ③
第 12 回	組写真撮影
第 13 回	Photoshop 応用①
第 14 回	Photoshop 応用②
第 15 回	プレゼンテーション③

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	色彩演習 I			教員名	高安 勲		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5103

授業目的と到達目標

ADEC 色彩士検定 3 級合格を目指す。

授業概要

講義と演習で「制作すること」に於ける色彩の面白さと重要性を学ぶ。教科書の各セクションごとに学び、演習を行う

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	大学卒業後、プロのグラフィックデザイナー、イラストレーターを経て、ADEC(アディック)全国美術デザイン教育振興会での色彩研究と色彩士検定の策定に参画。グラフィックデザイン、イラストレーションそして色彩演習、美術を指導します。
演習の作品提出、ペーパーテスト	30%	
出席状況、授業態度	70%	
	%	
	%	

教科書

Color Master basic 出) NPO 法人アディック出版局

参考書・参考文献

参考書(色彩) 演習教材(色彩感覚・配色カード)

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	色彩演習 I			教員名	高安 勲		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5103

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	色彩について
第3回	色彩の活用
第4回	色の意味
第5回	照明光源
第6回	色の知覚
第7回	混色
第8回	色の表示方法
第9回	色の知覚的効果
第10回	色彩の心理
第11回	色彩調和
第12回	模擬テスト.1.
第13回	模擬テスト.2.
第14回	模擬テスト.3.
第15回	まとめ

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	基礎造形			教員名	森村 誠		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2301

授業目的と到達目標

平面・立体作品の基礎技術・知識・発想力を体験的に学び、各専門分野の制作に対応できること及び、最低限度自分の制作物について自分の言葉で説明ができることを授業の到達目標とします。

授業概要

素材に対する意味要素、テーマに対する切り口など、作品制作に対する考え方を学び、完成度を追及する作品制作の技術力・発想力の育成を行うことを目的とした実習です。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	基礎造形に関して、美術作家の経験を元に指導します。
出席度：全日数 100 とする 70 可&受講状況	30%	
研究度：制作研究・実習・習熟度	30%	
制作・作品評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルのプリントを配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	基礎造形			教員名	森村 誠		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2301

授業計画（各回予定）							
授業内容							
第1回	ガイダンス・オリエンテーション						
第2回	「点～円の画面構成：浮遊する108個の●」。平面構成における「●」の「造形的存在」を探り「視覚効果」を、感覚的配列や構成により幾何学的視覚効果を表現する。ポスターカラー「黒」を使い「白（白地）黒」を製図器・筆によるベタ塗の技術体験をする。制作物のプレゼンテーション。						
第3回	〃						
第4回	複数の線列利用による「造形表現（集積面のイラスト化）の図案表現と時間経過の可能性」1使用前・使用后、過去・現在、現在・未来などアイデア図案（線の長短・強弱・配置・校正・集・散など）。規則正しい線列にアイデア図案を託す。烏口の線幅を駆使し、図案構成・描画の訓練。制作物のプレゼンテーション。						
第5回	〃						
第6回	紙ケント立体造形ケント紙でのランプシェードの作成。切り込み+折り曲げ、繰返+連結により、12cmの立方体ランプシェードを制作する。単純な幾何学的カットによる折込や折曲げを駆使し、1面を立体表現の1ピースとし、電源側を除く5面を体連続(repetition)し、ランプシェードを作成する。制作物のプレゼンテーション						
第7回	〃						
第8回	〃						
第9回	印刷物の意味と質感について印刷物の意味（各メディアの意味：例；新聞、ファッション誌、DM等の意味）と印刷物の質感（仕上げ・厚み・紙の種類など）を考慮してシュールな世界をコラージュで制作する。制作物のプレゼンテーション。参考資料：シュールレアリズムの作品画像など						
第10回	〃						
第11回	引用と盗用について引用（パロディ）と盗用（パクリ）の違いを理解し、質の高いパロディ作品（平面／立体／素材は問わず）の制作参考資料：デザインから現代美術のパロディ作品画像など、						
第12回	〃						
第13回	根付の制作根付についての基本情報の講義・根付の実物を使用して、根付の機能性などを体感する。現代における「根付」にたいするコンセプトの構築。制作+完成+プレゼンテーション						
第14回	〃						
第15回	〃						

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	基礎造形			教員名	森村 誠		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	4129

授業目的と到達目標

平面・立体作品の基礎技術・知識・発想力を体験的に学び、各専門分野の制作に対応できること及び、最低限度自分の制作物について自分の言葉で説明ができることを授業の到達目標とします。

授業概要

素材に対する意味要素、テーマに対する切り口など、作品制作に対する考え方を学び、完成度を追及する作品制作の技術力・発想力の育成を行うことを目的とした実習です。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	基礎造形に関して、美術作家の経験を元に指導します。
出席度：全日数 100 とする 70 可&受講状況	30%	
研究度：制作研究・実習・習熟度	30%	
制作・作品評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルのプリントを配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	基礎造形			教員名	森村 誠		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	4129

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス・オリエンテーション
第2回	「点～円の画面構成：浮遊する108個の●」。平面構成における「●」の「造形的存在」を探り「視覚効果」を、感覚的配列や構成により幾何学的視覚効果を表現する。ポスターカラー「黒」を使い「白（白地）黒」を製図器・筆によるベタ塗の技術体験をする。制作物のプレゼンテーション。
第3回	〃
第4回	複数の線列利用による「造形表現（集積面のイラスト化）の図案表現と時間経過の可能性」1使用前・使用后、過去・現在、現在・未来などアイデア図案（線の長短・強弱・配置・校正・集・散など）。規則正しい線列にアイデア図案を託す。烏口の線幅を駆使し、図案構成・描画の訓練。制作物のプレゼンテーション。
第5回	〃
第6回	紙ケント立体造形ケント紙でのランプシェードの作成。切り込み+折り曲げ、繰返+連結により、12cmの立方体ランプシェードを制作する。単純な幾何学的カットによる折込や折曲げを駆使し、1面を立体表現の1ピースとし、電源側を除く5面を体連続(repetition)し、ランプシェードを作成する。制作物のプレゼンテーション
第7回	〃
第8回	〃
第9回	印刷物の意味と質感について印刷物の意味（各メディアの意味：例；新聞、ファッション誌、DM等の意味）と印刷物の質感（仕上げ・厚み・紙の種類など）を考慮してシュールな世界をコラージュで制作する。制作物のプレゼンテーション。参考資料：シュールレアリズムの作品画像など
第10回	〃
第11回	引用と盗用について引用（パロディ）と盗用（パクリ）の違いを理解し、質の高いパロディ作品（平面/立体/素材は問わず）の制作参考資料：デザインから現代美術のパロディ作品画像など、
第12回	〃
第13回	根付の制作根付についての基本情報の講義・根付の実物を使用して、根付の機能性などを体感する。現代における「根付」にたいするコンセプトの構築。制作+完成+プレゼンテーション
第14回	〃
第15回	〃

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デッサン			教員名	高安 勲		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	2312

授業目的と到達目標

総合デザイン学科に於いて必要とされるデッサンを基礎の段階から順序立てて学ぶ。

授業概要

モチーフを正確に捉える観察力と描写力を修得し、作品として表現する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	大学卒業後、プロのグラフィックデザイナー、イラストレーターを経て、ADEC(アディック)全国美術デザイン教育振興会での色彩研究と色彩士検定の策定に参画。グラフィックデザイン、イラストレーションそして色彩演習、美術を指導します。
作品の評価	60%	
出席状況、受講態度	40%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考プリントなどは、状況に応じて配付する。

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デッサン			教員名	高安 勲		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	2312

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	基本形とデッサン ... 立方体を描く
第3回	基本形とデッサン ... 球体を描く
第4回	基本形とデッサン ... 円柱を描く
第5回	デッサン単体 ... ブロック
第6回	デッサン単体 ... スプーン
第7回	デッサン単体 ... ガラスコップ
第8回	デッサン単体 ... 軍手
第9回	デッサン複数 ... 植木鉢.シュロ縄
第10回	デッサン複数 ... 植木鉢.シュロ縄
第11回	デッサン複数 ... ビン.テニスボール.布
第12回	デッサン複数 ... ビン.テニスボール.布
第13回	デッサン空間を描く ... 校内風景
第14回	デッサン空間を描く ... 校内風景
第15回	総合評価

受講上の注意

モチーフなどは、主に学校装備のものを使用する。

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デッサン			教員名	大村 忠久		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	1303

授業目的と到達目標

デザインの業務においては自らが構想した意匠を「他者に簡潔に伝達する」という作業が必須となります。意匠の伝達は、確かな技術力があって始めて達成しうるものです。鉛筆を使って短時間でイメージスケッチを作成しうる能力は、確かなデッサン力があって初めて発揮する事が出来る所となります。この授業では、デザインの業務において必須とされる、鉛筆を使った伝達力の養成を最終的な目的とした授業を行います。

授業概要

造形の基礎となるデッサンの作業を通じて、構成力・造形力・描写力の育成を図ります。デザインの業務を考慮し、鉛筆デッサンのみに絞る形で実習を行います。具体的な鉛筆の使い方に始まり、構図の選定、透視図法、立体感の表現法、質感の描き分け方、タッチの入れ方等を習得しデッサン力及び描写力の向上と表現の基礎を学びます。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	30年以上の実務実績を持つ現役のイラストレーターによりビジュアルコミュニケーションの技術力の育成に主眼を置いた指導をします。
技術の習熟度	70%	
出席率	30%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デッサン			教員名	大村 忠久		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、イラストレーション			年次	1	履修コード	1303

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	基礎立体 立方体
第3回	基礎立体 球体
第4回	基礎立体 円柱
第5回	質感表現 コンクリートブロック
第6回	質感表現 スプーン（金属）
第7回	質感表現 ガラスのコップ
第8回	質感表現 手袋（布）
第9回	複数のモチーフの構成1 2つのモチーフを組み合わせる 植木鉢と園芸用紐
第10回	複数のモチーフの構成2 2つのモチーフを組み合わせる 植木鉢と園芸用紐
第11回	複数のモチーフの構成3 3つのモチーフを組み合わせる コーラの瓶とボールと白い布
第12回	複数のモチーフの構成4 3つのモチーフを組み合わせる コーラの瓶とボールと白い布
第13回	スケッチ1 校内でスケッチする（透視図法・遠近法のトレーニング）
第14回	スケッチ2 校内でスケッチする（透視図法・遠近法のトレーニング）
第15回	上記課題の中から加筆したい作品に自由に加筆

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デッサン			教員名	大村 忠久		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン			年次	1	履修コード	3302

授業目的と到達目標

デザインの業務においては自らが構想した意匠を「他者に簡潔に伝達する」という作業が必須となります。意匠の伝達は、確かな技術力があって始めて達成しうるものです。鉛筆を使って短時間でイメージスケッチを作成しうる能力は、確かなデッサン力があって初めて発揮する事が出来る所となります。この授業では、デザインの業務において必須とされる、鉛筆を使った伝達力の養成を最終的な目的とした授業を行います。

授業概要

造形の基礎となるデッサンの作業を通じて、構成力・造形力・描写力の育成を図ります。デザインの業務を考慮し、鉛筆デッサンのみに絞る形で実習を行います。具体的な鉛筆の使い方に始まり、構図の選定、透視図法、立体感の表現法、質感の描き分け方、タッチの入れ方等を習得し、デッサン力及び描写力の向上と表現の基礎を学びます。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	30年以上の実務実績を持つ現役のイラストレーターによりビジュアルコミュニケーションの技術力の育成に主眼を置いた指導をします。
技術の習熟度	70%	
出席率	30%	
	%	
	%	

教科書

参考プリントなどは、状況に応じて配付する。

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デッサン			教員名	大村 忠久		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン			年次	1	履修コード	3302

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	基礎立体 立方体
第3回	基礎立体 球体
第4回	基礎立体 円柱
第5回	質感表現 コンクリートブロック
第6回	質感表現 スプーン（金属）
第7回	質感表現 ガラスのコップ
第8回	質感表現 手袋（布）
第9回	複数のモチーフの構成1 2つのモチーフを組み合わせる 植木鉢と園芸用紐
第10回	複数のモチーフの構成2 2つのモチーフを組み合わせる 植木鉢と園芸用紐
第11回	複数のモチーフの構成3 3つのモチーフを組み合わせる コーラの瓶とボールと白い布
第12回	複数のモチーフの構成4 3つのモチーフを組み合わせる コーラの瓶とボールと白い布
第13回	スケッチ1 校内でスケッチする（透視図法・遠近法のトレーニング）
第14回	スケッチ2 校内でスケッチする（透視図法・遠近法のトレーニング）
第15回	上記課題の中から加筆したい作品に自由に加筆

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザインスケッチ			教員名	畑 卓也		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5301

授業目的と到達目標

より高い描写力と表現力の構築観察力と集中力の養成

授業概要

より正確な技術力と高度な表現力の修得

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、基礎となるデッサン・ドローイング等の技術習得、アイデアスケッチ表現の指導を行う。」
課題内容の理解度、完成度	50%	
取り組みと到達度	30%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザインスケッチ			教員名	畑 卓也		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	5301

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	「前期復習」線透視法(パース)の確認と陰影表現
第2回	「三面図」
第3回	「立体文字」遠近法の理解と遠近法を使ったスケッチ表現
第4回	「写真模写」モノクロ写真：カメラ、鉛筆による描写表現
第5回	「写真模写」モノクロ写真：カメラ、鉛筆による描写表現
第6回	「写真模写」モノクロ写真：人物、鉛筆による描写表現
第7回	「写真模写」モノクロ写真：人物、鉛筆による描写表現
第8回	「写真模写」カラー写真、色鉛筆による色彩表現
第9回	「写真模写」カラー写真、色鉛筆による色彩表現
第10回	「果物・野菜」水彩絵の具、混色と重色・線やタッチ。
第11回	「果物・野菜」水彩絵の具、混色と重色・線やタッチ。
第12回	「紙風船」水彩絵の具、陰影と色彩の表現
第13回	「紙風船」水彩絵の具、陰影と色彩の表現
第14回	「顔」眼・鼻・口などパーツごとに表情を描写表現
第15回	「自画像」

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	グラフィックデザイン I			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2302

授業目的と到達目標

色・形・構図、文字の基本的な形を学習する。手作業による丁寧な作業により制作に対する基本姿勢を学ぶ。PC のスキルを上達させる。

授業概要

●絵の具による平面構成。基本帰化形態からのパターンを考案。●レタリング。文字の成り立ちを知る。●対象をリサーチし、ポスターを制作。手描き。●ピクトグラム 制作・PC スキルの向上●進級制作

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	30%	
作品評価	70%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	グラフィックデザイン I			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	1	履修コード	2302

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス 基本の和文レタリング
第2回	基本の英文・数字のレタリング
第3回	ユニットによる平面構成
第4回	ユニットによる平面構成
第5回	ユニットによる平面構成 合評
第6回	友達ポスター
第7回	友達ポスター
第8回	友達ポスター
第9回	イラストレーター演習 進級制作
第10回	進級制作
第11回	進級制作
第12回	進級制作
第13回	友達ポスター
第14回	友達ポスター
第15回	友達ポスター 合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン各論 I			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	5 時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6501

授業目的と到達目標

シンボルマーク、ブランドロゴタイプからデザインの目的、考え方を教授していく。デザインをコミュニケーションとして考える基礎を、各自シンボルマーク、ロゴタイプを制作していくなかで、整理させていく。

授業概要

シンボルマーク、ブランドロゴタイプの資料提示から、各自の資料収集し、仮定の企業や店舗、施設等を想定して、実制作を通じて考え方を学んでいく。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	広告、グラフィックデザインの会社を経営し、現在もアートディレクターの実務を実践。デザイナーとして必要なスキルのアップ、発想の視点や構想等も指導していきます。
出席率	60%	
取り組む姿勢、授業態度	20%	
表現力、完成度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン各論 I			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	5 時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6501

授業計画（各回予定）

授業内容	
第 1 回	デザイン資料提示
第 2 回	デザイン資料提示
第 3 回	マーク、ロゴタイプの実社会での制作プロセス説明
第 4 回	マーク、ロゴタイプの実社会での制作プロセス説明
第 5 回	各自で資料収集（資料点数 50 点ぐらい）
第 6 回	各自で資料収集（資料点数 50 点ぐらい）
第 7 回	各自で資料収集（資料点数 50 点ぐらい）
第 8 回	各自で資料収集（資料点数 50 点ぐらい）
第 9 回	各自架空の企業想定し、ネーミング、マーク、ロゴタイプを数点制作
第 10 回	各自架空の企業想定し、ネーミング、マーク、ロゴタイプを数点制作
第 11 回	各自架空の企業想定し、ネーミング、マーク、ロゴタイプを数点制作
第 12 回	各自架空の企業想定し、ネーミング、マーク、ロゴタイプを数点制作
第 13 回	各自架空の企業想定し、ネーミング、マーク、ロゴタイプを数点制作
第 14 回	制作したものを発表プレゼンテーション
第 15 回	最終の修正デザインを提出（評価）

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン各論Ⅱ			教員名	高濱 敦彦		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	5時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6502

授業目的と到達目標

企業広告／ポスター、サイト広告の目的と役割を教授し、各自資料の収集で、自分の興味あるデザインを刺激し、架空の企業でのポスター制作を実習を通じて実社会の目的を認識させる。

授業概要

資料の提示、ポスターやサイト広告の現状のや目的、役割を講義して、資料の収集から、各自架空の企業や店舗、施設を想定してポスターの制作を実制作する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	広告、グラフィックデザインの会社を経営し、現在もアートディレクターの実務を実践。デザイナーとして必要なスキルのアップ、発想の視点や構想等も指導していきます。
出席率	60%	
取り組む姿勢、授業態度	20%	
表現力、完成度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン各論Ⅱ			教員名	高濱 敦彦		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	5時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6502

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	資料提示とデザインの考え方講義
第2回	資料提示とデザインの考え方講義
第3回	資料提示とデザインの考え方講義
第4回	資料提示とデザインの考え方講義
第5回	ポスター資料各自収集
第6回	ポスター資料各自収集
第7回	ポスター資料各自収集
第8回	ポスター資料各自収集
第9回	架空の企業想定でポスター制作実習
第10回	架空の企業想定でポスター制作実習
第11回	架空の企業想定でポスター制作実習
第12回	架空の企業想定でポスター制作実習
第13回	架空の企業想定でポスター制作実習
第14回	ポスター作品プレゼンテーション
第15回	最終修正デザイン提出（評価）

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	キャリアプログラムⅡ			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	2	履修コード	2201

授業目的と到達目標

社会への興味・コミュニケーション能力・社会的基礎能力を広げ、実際に就職活動で活かせる具体的スキルを育成するプログラムです。Ⅰ基礎編（知る）・Ⅱ応用編（考える）・Ⅲ実践編（試す）

授業概要

私達が社会の中で仕事をする場合、相手や同僚がいて、気が合う人ばかりとは限りません。説明力や打合せの際の礼儀や作法など、避けて通れない幾つかの基本をここでは学びます学んだ事柄の応用編と位置づけます。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える 実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設 計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経 験を基に実践的な指導を行います。
出席率	90%	
レポート	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	キャリアプログラムⅡ			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	2	履修コード	2201

授業計画（各回予定）

授業内容							
第1回	◆Ⅰ基礎編（知る）Ⅱ応用編（考える）Ⅲ実践編（試す） 中の【Ⅱ応用編】を展開 学習意識の共有化 デザイン思考 ・アイデア発想法→多くの体験と柔軟な意識が大切 ・相手に「なるほど!」と云わせる要素が必要!						
第2回	コピーcopy ってなんだ? 広告のキャッチフレーズや説明文書 ・コピーは商品 販売促進のキーワード ・自分の制作物にもコピーは必要						
第3回	コピーを考える ブレインストーミング・JK法 の理解 ・生活雑貨 50 アイテム選出できますか? ・与件のキャッチコピーを提案してください						
第4回	コピーを学ぶ ○△□ など基本形を基に 2種のコピーを造る ・コピーがイメージを造る事に気がつきましょう						
第5回	ピクトを考える エクスクラメーションマークをモチーフに新種の提案 ・イメージネーションの大切さに気付く ・チームでのまとめ発表する						
第6回	プレゼンテーションの組立て方 伝えたい思いや考えを分かり易く端的に第三者へ伝える為の行為 とは? ・目的・効果 など意味合いを考える						
第7回	ポートフォリオⅠ 成り立ち・目的と効果について フォーマットの応用 ① 完成なんて無い! いつもが完成 ② 主観と客観を考慮する						
第8回	ポートフォリオⅡ 戦う為の準備を始める ・目的と効果予測を考える いつまでに造りますか? ・イメージづくり						
第9回	プロモーション力Ⅰ 自分をアピールする ・誰に何をアピールする? ・自分を上手く伝えなければ声は掛からない ・魅力的な自分を造る						
第10回	プロモーション力Ⅱ 自分の作品を売り込む ・自分を他者に理解して頂く「モノ」は揃ってますか? ・企画として 起承転結を話せますか?						
第11回	プロモーションチラシの作成 目的と活用法 販売促進活動とは ・自分の「カタログ」と考えて ・渡す相手を具体的に 得られる効果は?						
第12回	自分のビジョンを確認する 自分の進路を絞り込む ・なぜそう考えてのですか? ・自分のポテンシャルの確認と分析 ・希望企業 選出						
第13回	総括 この授業で学んだ事と活用法 ・この授業を通し学んだ事、感じた事 ・伸ばすべき箇所 改善すべき箇所 ・レポート作成（提出必須）						
第14回	パネルディスカッションⅠ 卒業生 現役デザイナーの作品を写しながら… ① 過去・現在・未来 について ② 現役学生へのメッセージ						
第15回	パネルディスカッションⅡ 卒業生 現役デザイナーの作品を写しながら… ① 過去・現在・未来 について ② 現役学生へのメッセージ						

受講上の注意

信頼を身につける

特記事項

出席は基より、与件に対する創造的取り組みのプロセスやコミュニケーション対応をもって評価とする。

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	キャリアプログラムⅢ			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	2	履修コード	2202

授業目的と到達目標

もうすぐ始まる就職活動の内容や進め方・希望企業の選出求められる人材対応・対策を考える。

授業概要

基礎・応用と学んで来た本講座のまとめとなる講座です。 実戦を想定した幾つかの要素を、模擬的活用手段を通して確認する 実践編と位置づけます。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える 実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計) に関する長年の多業種受託業務などから得た経験 を基に実践的な指導を行います。
出席率	90%	
レポート類	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	キャリアプログラムⅢ			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	2時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン、デジタルデザイン、イラストレーション			年次	2	履修コード	2202

授業計画（各回予定）							
授業内容							
第1回	◆Ⅰ基礎編（知る） Ⅱ応用編（考える） Ⅲ実践編（試す） の中の【Ⅲ実践編】を展開 備えるべき事柄 準備しておくこと 就職の再認識（今、何が揃っていますか？）・備え（身だしなみ・服装・バッグ）（知識・技術・意識）						
第2回	就職活動の流れ 支援センター ・まず、スケジュールの確認から ・履歴書はなぜ必要？ ・履歴書を書く						
第3回	今後の就活計画 もう就活は始まっている ・就活の行程表を描く ・卒業までのカウントダウン表 ・今後の計画と対応						
第4回	企業を探す・知る ※先ず最初の手立てとして ・業種と職種を理解する ・どうやって探す？（情報収集）電話帳/情報サイトの活用						
第5回	企業を選ぶ ※「企業」を「○○」に置き換えて… ・見つけても… ・見つけた企業は… ・マッチングが重要 身の丈を考えて…						
第6回	ディベートを体験 肯定・否定を使い分ける（正当化） グループに別れ互いの根拠や裏付けを元に討論する						
第7回	面接がある訳（人間性・対応力）（知識・技術・常識）を確かめたい 「会社の看板を背負う」と云うこと						
第8回	身だしなみ 印象は5秒で決まる ・外面的要素 姿勢 表情 服装 ・内的要素 言葉使い 会話の内容 日頃の心掛けが大切						
第9回	個人・グループ面接 先輩達の実例を元に、学生側/企業側、其々の立場からの見解を解説 守らなければいけない項目と対応						
第10回	作品 面接 与件 基礎 実践 模擬 ・誰に・どんな目的で・何を・どう見せる ・意味ある物・期待される物を見せる（目的の理解と方策）						
第11回	社会人の約束 【内定】という言葉の重さ 【約束】の意味と社会的責任 約束が守れないと云うことは…						
第12回	もう就活は始まっている 計画と対策（内定までのプロセスを確認する）						
第13回	総括 この授業で学んだ事と活用法の振り返り レポート作成（提出必須） ・明日から何を始める？						
第14回	体験アドバイスⅠ 私はこうして内定を得た ・先輩の内定学生からリアルな体験を聞く ① どうやって見つけた？ ② どんな準備を？						
第15回	体験アドバイスⅡ 私はこうして内定を得た ③ どんな試験？ ④ どんな面接？ ⑤ 内定の決め手は？ ※注意すべき事柄						

受講上の注意							
実践的な就職活動を想定した準備を行う							

特記事項							
出席状況と、与件に対する創造的取り組みと理解度を基にした総合評価とする。							

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD研究			教員名	畑 卓也		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3401

授業目的と到達目標

グラフィックデザイン表現と媒体研究身の廻りにある様々な表現媒体を取り上げ、レイアウトや配色の構成・造形要素について分析・考察をし、実践的に考える

授業概要

それぞれのメディアに対し、調査・比較考察・研究。分析・比較研究と共に自己の発想・アイデア考察・創造力を磨き、幅広いコミュニケーション能力と表現力を身につける。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、観察・収集・分析・考察する事と、幅広い表現方法等の指導を行う。」
課題作品に対する評価	80%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD研究			教員名	畑 卓也		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3401

授業計画（各回予定）							
授業内容							
第1回	ガイダンス 「自己分析・自己PRプリント」						
第2回	「DM、チラシ」	レイアウト構成や配色について分析・比較考察。				分析考察まとめ	
第3回	「DM、チラシ」	レイアウト構成や配色について分析・比較考察。				分析考察まとめ	
第4回	「ロゴ・マーク」	サンプリング調査。造形的要素について分析・考察。					
第5回	「ロゴ・マーク」	ロゴマーク制作					
第6回	「ロゴ・マーク」	ロゴマーク制作					
第7回	「リーフレット」	三つ折り・四つ折りリーフレットのサンプリング調査比較考察。					まとめ
第8回	「リーフレット」	三つ折り・四つ折りリーフレットのサンプリング調査比較考察。					まとめ
第9回	「リーフレット」	三つ折りリーフレット制作					
第10回	「リーフレット」	三つ折りリーフレット制作					
第11回	「リーフレット」	三つ折りリーフレット制作					
第12回	「書籍・雑誌」	文庫本カバー表紙デザインのサンプリング調査・ジャンル別比較考察。					ま とめ
第13回	「書籍・雑誌」	文庫本カバー表紙制作					
第14回	「書籍・雑誌」	文庫本カバー表紙制作					
第15回	「書籍・雑誌」	文庫本カバー表紙制作					

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3104

授業目的と到達目標

テーマに沿った写真表現の効果・研究。表現技術の体験的試みと指示原稿の制作。ビジュアルデザイン処理・原稿の創作～作品の制作。

授業概要

企画～撮影・技術のアートプラン等、コンセプトメイキングから表現効果の実践・実感撮影。実践のアイデア視点と写真創作の効果を探り、表現の効果を考察研究、オリジナル企画の写真表現戦略を構築・創作～作品の制作を行う。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席・作品・授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3104

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	応用実践撮影
第3回	応用実践画像処理、プレゼンテーション ①
第4回	ポストカード撮影
第5回	ポストカード編集
第6回	ポストカード編集 プレゼンテーション ②
第7回	スタジオワーク①
第8回	スタジオワーク②
第9回	Lightroom 基礎
第10回	Lightroom 応用①
第11回	Lightroom 応用② プレゼンテーション ③
第12回	ポートレート撮影
第13回	ポートレート編集
第14回	冬季課題編集
第15回	プレゼンテーション④

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3106

授業目的と到達目標

テーマに沿った写真表現の効果・研究。表現技術の体験的試みと指示原稿の制作。ビジュアルデザイン処理・原稿の創作～作品の制作。

授業概要

企画～撮影・技術のアートプラン等、コンセプトメイキングから表現効果の実践・実感撮影。実践のアイデア視点と写真創作の効果を探り、表現の効果を考察研究、オリジナル企画の写真表現戦略を構築・創作～作品の制作を行う。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席・作品・授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3106

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	応用実践撮影
第3回	応用実践画像処理、プレゼンテーション ①
第4回	ポストカード撮影
第5回	ポストカード編集
第6回	ポストカード編集 プレゼンテーション ②
第7回	スタジオワーク①
第8回	スタジオワーク②
第9回	Lightroom 基礎
第10回	Lightroom 応用①
第11回	Lightroom 応用② プレゼンテーション ③
第12回	ポートレート撮影
第13回	ポートレート編集
第14回	冬季課題編集
第15回	プレゼンテーション④

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4127

授業目的と到達目標

テーマに沿った写真表現の効果・研究。表現技術の体験的試みと指示原稿の制作。ビジュアルデザイン処理・原稿の創作～作品の制作。

授業概要

企画～撮影・技術のアートプラン等、コンセプトメイキングから表現効果の実践・実感撮影。実践のアイデア視点と写真創作の効果を探り、表現の効果を考察研究、オリジナル企画の写真表現戦略を構築・創作～作品の制作を行う。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	担当教員はフォトグラファーとしての実績経験を元に、写真の基本を中心に幅広く指導。
出席・作品・授業態度	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

必要に応じて資料配布

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	フォトデザインII			教員名	藤原 純子		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4127

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	応用実践撮影
第3回	応用実践画像処理、プレゼンテーション①
第4回	ポストカード撮影
第5回	ポストカード編集
第6回	ポストカード編集 プレゼンテーション②
第7回	スタジオワーク①
第8回	スタジオワーク②
第9回	Lightroom 基礎
第10回	Lightroom 応用①
第11回	Lightroom 応用② プレゼンテーション③
第12回	ポートレート撮影
第13回	ポートレート編集
第14回	冬季課題編集
第15回	プレゼンテーション④

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	DTPデザイン			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3103

授業目的と到達目標

DTP 作業で使用するグラフィックソフト、Illustrator、Photoshop の基本オペレーションを知り、印刷物作成に必要なデータ作成と入稿までの知識を修得し、デザイン力を養う。

授業概要

デザイン現場での DTP の役割を実践し、基本的な知識・技術・デザイン力を体験的に修得する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務 15 年、フリー現役デザイナー 23 年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を中心に幅広く指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	DTPデザイン			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	水曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	3103

授業計画（各回予定）	
授業内容	
第1回	DTPの役割～流れ制作/印刷物サンプル紹介
第2回	「ペラ物」A4チラシ制作/印刷とDTPの基本
第3回	トリムマーク・塗りたし・フォルダー整理 等
第4回	グラフィックデータ作成と入稿→制作
第5回	「ページ物見開き」A4/角版写真使用
第6回	画像解像度・写真加工&色校正
第7回	レイアウト・バランス→制作
第8回	文字だけのA4説明チラシ
第9回	字間、行間による視覚調整→制作
第10回	「ペラ物」B4フリーレイアウト製作
第11回	紙面上に自由に写真や文字を配置するレイアウト→制作
第12回	「ペラ物」A4旅行案内チラシ
第13回	伝わる色の使い方・ラフの作り方→制作
第14回	「ペラ物」個展用A4両面チラシ/図表と地図
第15回	入稿データ制作→プレゼン

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	マルチメイク表現			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4401

授業目的と到達目標

版画(印刷)の基礎知識とプリント技術を活かした幅広い表現・制作技術の修得。アイデアから完成までのプロセスを学ぶとともに、デザイン・イラスト表現におけるスクリーンプリントの活用を考える。紙の種類やその他素材に触れ、質感を活かした表現を考える。

授業概要

◎スクリーンプリントの印刷技術の原理理解と制作プロセスを学び、スクリーンプリント表現を活かした課題制作。◎紙や布など素材を活かした印刷。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、スクリーンプリントなど版画表現や造形表現の指導を行う。」
課題作品に対する評価	80%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	マルチメイク表現			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4401

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス：カリキュラム説明、版画(印刷)の種類と原理、その他多様なプリント技法について 「スクリーンプリント：ポストカード」 単色・多色刷りポストカード制作 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第2回	「スクリーンプリント：ポストカード」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第3回	「スクリーンプリント：ポストカード」 製版、印刷
第4回	「スクリーンプリント：ポストカード」 印刷
第5回	「スクリーンプリント：カレンダー」 カレンダー制作 スクリーンプリントを活かしたデザインと紙の選択 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第6回	「スクリーンプリント：カレンダー」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第7回	「スクリーンプリント：カレンダー」 製版、印刷
第8回	「スクリーンプリント：カレンダー」 印刷
第9回	「スクリーンプリント：T シャツ」 オリジナル企画デザイン、ロゴマーク・イラスト・キャラクターなど
第10回	「スクリーンプリント：T シャツ」 製版原稿制作、製版用フィルム制作、製版
第11回	「スクリーンプリント：T シャツ」 製版・印刷
第12回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 スクリーンプリントを活かしたデザインと素材の選択 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第13回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第14回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 製版、印刷
第15回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 印刷、製本

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	マルチメイク表現			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6301

授業目的と到達目標

版画(印刷)の基礎知識とプリント技術を活かした幅広い表現・制作技術の修得。アイデアから完成までのプロセスを学ぶとともに、デザイン・イラスト表現におけるスクリーンプリントの活用を考える。紙の種類やその他素材に触れ、質感を活かした表現を考える。

授業概要

◎スクリーンプリントの印刷技術の原理理解と制作プロセスを学び、スクリーンプリント表現を活かした課題制作。◎紙や布など素材を活かした印刷。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、スクリーンプリントなど版画表現や造形表現の指導を行う。」
課題作品に対する評価	80%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	マルチメイク表現			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	6301

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス：カリキュラム説明、版画(印刷)の種類と原理、その他多様なプリント技法について 「スクリーンプリント：ポストカード」 単色・多色刷りポストカード制作 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第2回	「スクリーンプリント：ポストカード」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第3回	「スクリーンプリント：ポストカード」 製版、印刷
第4回	「スクリーンプリント：ポストカード」 印刷
第5回	「スクリーンプリント：カレンダー」 カレンダー制作 スクリーンプリントを活かしたデザインと紙の選択 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第6回	「スクリーンプリント：カレンダー」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第7回	「スクリーンプリント：カレンダー」 製版、印刷
第8回	「スクリーンプリント：カレンダー」 印刷
第9回	「スクリーンプリント：T シャツ」 オリジナル企画デザイン、ロゴマーク・イラスト・キャラクターなど
第10回	「スクリーンプリント：T シャツ」 製版原稿制作、製版用フィルム制作、製版
第11回	「スクリーンプリント：T シャツ」 製版・印刷
第12回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 スクリーンプリントを活かしたデザインと素材の選択 アイデアスケッチ・ラフ案からカンパ制作
第13回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 製版原稿制作、製版用フィルム制作
第14回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 製版、印刷
第15回	「文庫本上製本・表紙デザイン」 印刷、製本

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	パッケージデザイン			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	1103

授業目的と到達目標

与件に対するマーケティングから事業計画までのコンセプトを立て、企画提案書を含んだパッケージを制作する。5W2Hの原則に沿ったプランニングから社会的・経済的・技術的・心理的・生理的などの諸要素を統合した実践の中から学ぶ。

授業概要

①：包む機能と役割②：パッケージの形状・材料の種類と特性③：手法・技法の基礎学習の実践体験と提案④：デザイン現場の実際（企画提案書等）基礎（基本）から応用にかけて実践提案の想定実習とする。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える 実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経験を基に実践的な指導を行います。
製作物	60%	
企画提案	30%	
出席率	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	パッケージデザイン			教員名	津田 光明		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	1103

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス：この授業で学ぶ事 何をどう包む?? ・パッケージとラッピングとの違い・包む意味・包む材料・包む目的の理解・生地取り・加工用具（カッターナイフ・三角定規・ニードル・折り曲げ技法・紙の目・用器画図法などの説明
第2回	基礎演習：図面の種類・図面の読み方・採寸について・マーケティングの必要性と実施などの説明・製作図の書き方 Illustrator(Ai) 実践の説明と理解
第3回	◆服飾関連：与件の説明・服飾の定義に関する共有化を図る・新規&リデザインのいずれかで計画
第4回	◆服飾関連：アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第5回	◆服飾関連：モデル作成→モデル撮影→A3 企画提案書 作業
第6回	◆服飾関連：作品のプレゼンテーション（ダミーモデル&企画提案書）提出／合評
第7回	◆食品関連：与件の説明・テーマ：テイクアウト店（スコーン&飲み物）商品を取り巻く（衛生面 物理面 販促面）を考慮した計画
第8回	◆食品関連：アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第9回	◆食品関連：モデル作成→問題点の抽出と解決の為のアドバイス 中間チェック
第10回	◆食品関連：モデル撮影→A3 企画提案書 作業
第11回	◆食品関連：作品のプレゼンテーション（ダミーモデル&企画提案書）提出／合評
第12回	◆コスメ関連：与件の説明・商品を取り巻く（衛生面?物理面?販促面）を考慮した計画 ボトル素材は統一
第13回	◆コスメ関連：アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第14回	◆コスメ関連：モデル作成→モデル撮影→A3 企画提案書 作業
第15回	◆コスメ関連：作品のプレゼンテーション（ダミーモデル&企画提案書）提出／合評

受講上の注意

出席評価と、与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書・ダミーサンプルと表現的要素をもって評価とする。一度採点を終えた作品について、バージョンアップを目的とした再提出は、随時受け付けます

特記事項

※与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書・ダミーサンプルと表現的要素をもって評価とする。※ 課題は全て合評形式による発表とする

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	タイポグラフィ			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5401

授業目的と到達目標

●グラフィックの基本であるタイポグラフィ表現を習得する。言葉の意味とタイポグラフィの造形の面白さを追求する。●レイアウトにおける文字の役割を知り、そのバランスを学ぶとともにエディトリアルの基本を学ぶ。

授業概要

●四字熟語とオリジナルタイポグラフィ ●アルファベットとオリジナルタイポグラフィ ●グリッドを使ったフォーマット。キャッチ、見出し、本文、キャプションのバランスとレイアウトを4ページで習得。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	20%	
作品評価	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	タイポグラフィー			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5401

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス 四字熟語選び
第2回	四字熟語 オリジナルタイポグラフィー
第3回	四字熟語 オリジナルタイポグラフィー
第4回	四字熟語 オリジナルタイポグラフィー
第5回	四字熟語 オリジナルタイポグラフィー
第6回	四字熟語 オリジナルタイポグラフィー 合評
第7回	英文 オリジナルタイポグラフィー
第8回	英文 オリジナルタイポグラフィー
第9回	英文 オリジナルタイポグラフィー
第10回	英文 オリジナルタイポグラフィー 合評
第11回	グリッドシステムによるフォーマット
第12回	エディトリアル基本
第13回	エディトリアル基本
第14回	エディトリアル基本
第15回	エディトリアル基本 合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	色彩演習Ⅱ			教員名	近藤 雅義		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5101

授業目的と到達目標

色彩構成の可能性の研究と ADEC 色彩士検定試験の合格。

授業概要

色彩構成の研究に必要な次の事項を演習する。・カラーチャート ・配色構成 ・イメージ表現 ・色彩分析

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	生活環境に関する色彩デザインの実務経験を活かして配色の調和理論及び色彩計画について指導します。
作品	70%	
平常点(授業における取組状況の評価)	30%	
	%	
	%	
	%	

教科書

カラーマスター(ベーシック) 出) NPO 法人アデック出版局 著) ADEC 色彩士検定委員会

カラーマスター(スタンダード) 出) NPO 法人アデック出版局 著) ADEC 色彩士検定委員会

参考書・参考文献

色彩学 出) 理工図書 著) 近藤 恒夫

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	色彩演習Ⅱ			教員名	近藤 雅義		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5101

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	色相の自然連鎖と明度スケール
第3回	カラーダイヤル、トーン分類表
第4回	色感トレーニング
第5回	顕色系システムによる色の表示方法
第6回	混色系システムによる色の表示方法
第7回	ヒュートーンシステムによるカラーハーモニー
第8回	アナロジーとコントラスト
第9回	色彩調和論
第10回	自然景観の色彩分析(遠景)
第11回	自然景観の色彩分析(近景)
第12回	各種デザイン及び美術作品の色彩分析
第13回	カラーイメージ(コンセプト)
第14回	環境調和性の研究(色の知覚的效果)
第15回	配色分析(色の心理的效果)

受講上の注意

演習に必要な用具の説明をしますので準備をして出席をして下さい。

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン計画と表現			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	2303

授業目的と到達目標

広告と販売促進の役割の違いを知り、目的に沿ったデザインをすることを学ぶ。ターゲット設定、コンセプト立案、それに即したデザイン展開を学習する。

授業概要

商品とターゲットを設定し、瓶入り商品のデザインを展開する。 ●コンセプトシート ●ラベルデザイン
●販促物 ●雑誌広告

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	20%	
作品評価	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン計画と表現			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	2303

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	商品コンセプト
第3回	ラベルデザイン
第4回	ラベルデザイン
第5回	ラベルデザイン
第6回	ラベルデザイン 合評
第7回	学外授業
第8回	イラストレーター演習
第9回	販促物
第10回	販促物
第11回	販促物
第12回	販促物 合評
第13回	雑誌広告
第14回	雑誌広告
第15回	雑誌広告 合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	マスタートレーニング			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5303

授業目的と到達目標

観察力とより高い表現力の構築根気・集中力

授業概要

ラフスケッチ等で必要な短時間での描写力・表現力の修得画材・技法・色彩等、独自の表現の可能性を探る

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、基礎となるデッサン・ドローイング等の技術習得、アイデアスケッチ表現の指導を行う。」
課題内容の理解度、完成度	50%	
取り組みと到達度	30%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	マスタートローイング			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	5303

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	「手とロープ」組み合わせやポージングによる空間や動き・表情の表現
第2回	「鏡と折り鶴」鏡面の表現。鏡映のかたちと空間を捉える
第3回	「ワイン瓶とグラス」ホワイトデッサン：黒紙と白鉛筆によるデッサン。光を描く
第4回	「ワイン瓶とグラス」ホワイトデッサン：黒紙と白鉛筆によるデッサン。光を描く
第5回	「アルミホイル」灰色紙に鉛筆と白鉛筆
第6回	「アルミホイル」灰色紙に鉛筆と白鉛筆
第7回	「にぼし」拡大細密描写表現
第8回	「果物・野菜」三原色色鉛筆表現。
第9回	「手」鉛筆・三原色色鉛筆表現。
第10回	「手」鉛筆・三原色色鉛筆表現。
第11回	「ボールペンスケッチ」ボールペンを使いスケッチ。形を観る事、描く線を意識する。質感の表現
第12回	「ボールペンスケッチ」ボールペンを使いスケッチ。形を観る事、描く線を意識する。質感の表現
第13回	「スニーカー」細密描写表現
第14回	「スニーカー」細密描写表現
第15回	「コーラ瓶」水彩絵の具

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	グラフィックデザインⅡ			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4302

授業目的と到達目標

デザインを進めるための基礎（発想力・造形力・理解力・協調性・管理能力）と、役割を修得し、仕事に活かせるデザインを追求する。

授業概要

各種デザイン媒体の作品を紹介し、実際のプロの仕事を交えながらデザインを進めるためのテクニックを学び、仕事に活かせるデザインを学習する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	会社でのグラフィックデザイン職務15年、フリー現役デザイナー23年、平面、立体等の各種デザイン経験を活かして、実践に向けたグラフィックデザインを幅広く指導します。
課題提出	60%	
出席評価	40%	
	%	
	%	

教科書

オリジナルプリント配布・Design Basic Book

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	グラフィックデザインⅡ			教員名	喜多 茂博		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	1-3時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	4302

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	制作物を紹介/新聞広告・映画チラシ等
第2回	アイデア表現&バランス
第3回	英数字デザイン/clock
第4回	新聞広告（美専）全15段
第5回	情報整理・モチーフ素材→制作
第6回	オリジナ書体(筆などを使って和文字)
第7回	ボトルラベル→制作
第8回	フォントポスターデザイン/書体イメージ
第9回	ショップ企画/情報収集・販売戦略
第10回	マーク・シンボル・ロゴマーク
第11回	POPの目的と種類/二面チェンジPOP製作
第12回	パッケージ制作
第13回	チラシ・ポストカード・DM等
第14回	パターン柄・包装紙/バランスとリズム
第15回	ショップ企画/プレゼン

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	職業実践プログラム I			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	1301

授業目的と到達目標

優れたデザインをより早くより丁寧に制作する。実践的な課題を通して判断力、デザイン能力、スキルにおいてレベルアップする。

授業概要

食品・物販・イベントなどターゲット、商品特性、流通経路の異なる4種類のフライヤーを制作。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
作品評価	80%	
取組み、授業態度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	職業実践プログラム I			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	月曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	2	履修コード	1301

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス スペックの組み方
第2回	ミスタードーナツフライヤー
第3回	ミスタードーナツフライヤー 合評
第4回	Zoff チラシ
第5回	Zoff チラシ
第6回	Zoff チラシ 合評
第7回	とらや 折り込み
第8回	とらや 折り込み
第9回	とらや 折り込み 進級課題
第10回	学外授業
第11回	とらや 折り込み 合評 進級課題
第12回	フランフラン チラシ
第13回	フランフラン チラシ
第14回	フランフラン チラシ
第15回	フランフラン チラシ 合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	デザイン各論Ⅲ			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5304

授業目的と到達目標

19世紀末から現代までの美術・デザインムーブメントをピックアップし、時代背景とともにクリエイターがどうあったのかを知る。

授業概要

前半4回は天王寺駅ポスターについて考察し、アイデアを出す。各美術運動について画像を見ながら、時代背景と美術・デザインの関わり、変遷を学ぶ。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	20%	
レポート	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	デザイン各論Ⅲ			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5304

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	天王寺駅ポスターについて
第2回	天王寺駅ポスター
第3回	天王寺駅ポスター
第4回	天王寺駅ポスター
第5回	アーツアンドクラフツ、アールヌーボー、アール・デコ
第6回	フォービズム
第7回	キュビズム
第8回	ダダ
第9回	学外授業
第10回	シュールレアリスム
第11回	ロシアアバンギャルド
第12回	バウハウス ポップアート
第13回	琳派 日本画
第14回	現代美術
第15回	筆記試験

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	マスコミ媒体論			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5305

授業目的と到達目標

マスコミュニケーションとマス媒体各々の役割を学習し、各メディアに即した訴求を考察する。

授業概要

「美専新入生獲得」をテーマに各媒体の効果役割を学習しながら、各回アイデアラッシュを作成する。

成績評価方法・基準		教員実務経験
種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	20%	
提出物評価	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	マスコミ媒体論			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	3時限	形態	講義
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5305

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	媒体の役割と違いについて マスコミ4媒体とSNS
第2回	TVCM キャッチフレーズの役割
第3回	交通広告 吊、ドア横、ドア上
第4回	交通広告 アイデアラッシュ
第5回	交通広告 電車ジャック
第6回	新聞広告
第7回	新聞広告 アイデアラッシュ
第8回	折込チラシ
第9回	折込チラシ アイデアラッシュ
第10回	雑誌広告
第11回	雑誌広告 アイデアラッシュ
第12回	駅貼り広告
第13回	駅貼り広告 連作ポスターアイデアラッシュ
第14回	媒体を選んで広告展開案を提出
第15回	天王寺駅ポスターについて

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	プレゼンテーションⅡ			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5102

授業目的と到達目標

デザイナーの領域で、与件に沿った背景の中から、解決に必要な問題点を抽出する事と、提案に必要な諸要素を抽出し、説得性の高い「根拠と裏付けによる企画」を、社会的想定分野に向け、繰り返し提案を重ね、基本的展開要素と配慮すべき項目を学び、就活に備えます。

授業概要

企画提案作品の作り方から見せ方（提案方法）までを複数回体験し、スキルとセンスの提案法を身に付けます。授業を通し就活に活用できる提案物を作成し、そのポテンシャルを再認識し補うべき点を探します。（提出遅延は - 5点/週）

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える 実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経験 を基に実践的な指導を行います。
製作物	60%	
企画提案	30%	
出席率	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	プレゼンテーションII			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	金曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5102

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	◆パターン 与件の説明 テキスタイル・タイル・ファブリック・包装紙 など、私たちを取り巻く図柄パターンの提案。
第2回	◆パターン アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第3回	◆パターン 作品のプレゼンテーション (A3企画提案書) 提出/合評
第4回	◆カレンダー 与件の説明 平面を組み合わせる(折り曲げる)等から生まれる審美性のある卓上用立体カレンダーの企画を行う。 2022年版カレンダー マテリアル・目的・販売ショップ・価格などを考慮し、パッケージを含めた提案を行う
第5回	◆カレンダー アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第6回	◆カレンダー モデル作成→モデル撮影→A3企画提案書 作業
第7回	◆カレンダー 作品のプレゼンテーション (ダミーモデル&企画提案書) 提出/合評
第8回	◆生活雑貨の商品企画 与件の説明 Francfrancを対象として・・・生活空間で使用する商品雑貨を企画する。販売店の特性を理解し説得性や理解を深める工夫を心掛けた企画提案を行う
第9回	◆生活雑貨の商品企画 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第10回	◆生活雑貨の商品企画 A3企画提案書作成 作業
第11回	◆生活雑貨の商品企画 プレゼンテーション (企画提案書) 提出/合評
第12回	◆ノベルティ企画 与件の説明 主商品の販売促進の為にノベルティを企画する。ノベルティと景品の使いを認識する
第13回	◆ノベルティ企画 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第14回	◆ノベルティ企画 A3企画提案書作成 作業
第15回	◆ノベルティ企画 プレゼンテーション (企画提案書) 提出/合評

受講上の注意

出席は元より、与件に対する創造的取り組みのプロセスと動機付け・根拠に裏付けされた制作物の応用と対応を評価とし、総合的な個性・らしさの訴求効果をもって評価とする。一度採点を終えた作品について、バージョンアップを目的とした再提出は、随時受け付けます

特記事項

※与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書・ダミーサンプルと表現的要素をもって評価とする。※ 課題は全て合評形式による発表とする

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	Webデザイン			教員名	谷 明子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	1104

授業目的と到達目標							
web版ポートフォリオの制作							

授業概要							
webページ制作の基礎を習得し編集した画像も利用してエディターでマークアップを行う							

成績評価方法・基準		教員実務経験	
種別	割合		
受講姿勢	30%		
技能習得	30%		
制作物	40%		
	%		
	%		

教科書	
その都度参考資料を提示	
Web サイト	

参考書・参考文献	
必要に応じてコピーにて代行する	

参考 URL	

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	Webデザイン			教員名	谷 明子		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	1104

授業計画（各回予定）	
授業内容	
第1回	<用意された素材を使ってページを制作する> 文書構造を作る
第2回	html タグの作成と編集 見出し 段落 画像表示 リスト リンク
第3回	CSS コンテンツ表示のためのルール作り 文字 色 背景関係 レイアウト アニメーション
第4回	<用意された素材を使いグローバルナビゲーションのあるサイトを制作> ページレイアウト コンテンツの配置
第5回	一定要素の繰り返し クラス
第6回	flex で横に並べるレイアウト
第7回	CSS3 でできること
第8回	SVG ファイルの利用
第9回	これまで制作したページをスマートフォンにも対応できる CSS を追加する
第10回	<各自の web 版ポートフォリオの制作> 資料集め デザインラフ作成
第11回	アウトラインの作成
第12回	ソースとスタイルシート作成
第13回	ソースとスタイルシート作成
第14回	ページ内リンク確認
第15回	講評会

受講上の注意
講義内容は毎回の積み重ねになるので欠出した時はプリントで確認し疑問点は質問して下さい

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	Webデザイン			教員名	谷 明子		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-2 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2103

授業目的と到達目標

web 版ポートフォリオの制作

授業概要

web ページ制作の基礎を習得し編集した画像も利用してエディターでマークアップを行う

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	
受講姿勢	30%	
技能習得	30%	
制作物	40%	
	%	
	%	

教科書

その都度参考資料を提示

Web サイト

参考書・参考文献

必要に応じてコピーにて代行する

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	Webデザイン			教員名	谷 明子		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	1-2時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2103

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	<用意された素材を使ってページを制作する> 文書構造を作る
第2回	html タグの作成と編集 見出し 段落 画像表示 リスト リンク
第3回	CSS コンテンツ表示のためのルール作り 文字 色 背景関係 レイアウト アニメーション
第4回	<用意された素材を使いグローバルナビゲーションのあるサイトを制作> ページレイアウト コンテンツの配置
第5回	一定要素の繰り返し クラス
第6回	flex で横に並べるレイアウト
第7回	CSS3 でできること
第8回	SVG ファイルの利用
第9回	これまで制作したページをスマートフォンにも対応できる CSS を追加する
第10回	<各自の web 版ポートフォリオの制作> 資料集め デザインラフ作成
第11回	アウトラインの作成
第12回	ソースとスタイルシート作成
第13回	ソースとスタイルシート作成
第14回	ページ内リンク確認
第15回	講評会

受講上の注意

講義内容は毎回の積み重ねになるので欠出した時は用意したプリントで確認し疑問点は質問して下さい

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	コンセプトメイキング			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	4102

授業目的と到達目標

デザインを作成する前提となるコンセプトについて、各自のテーマに基づいてコンセプト立案～デザインの方
向性をまとめていく。

授業概要

各自が考えた企業、ブランド、商品等のこれからの存在価値をコンセプトメイキングし、後期の「デザインⅢ」の
授業にこのテーマをデザインプロセスに落とし込む作業で連携します。後半の3回は「卒業制作」の各自のテ
ーマをコンセプト立案に取り組む。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	広告、グラフィックデザインの会社を経営し、現在 もプランナー・アートディレクターの実務を实践。 デザイナーとして必要なスキルのアップ、発想の 視点や構想等も指導していきます。
出席	60%	
授業態度、取り組む姿勢	20%	
課題の評価	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

コンセプトメイキング出) 株式会社ディスカバー・トゥエンティワン著) 高橋宣之

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	コンセプトメイキング			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	4102

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	コンセプト概略説明
第2回	コンセプト事例説明
第3回	各自のテーマ立案
第4回	現状と問題点の書き出し
第5回	市場の動向、ニーズ把握
第6回	ターゲットの設定、イメージ分析
第7回	新しい価値づくり、発見
第8回	コンセプトをことばに
第9回	コンセプトまとめ作業
第10回	デザインへの方向性イメージ作成
第11回	コンセプトシートの完成
第12回	プレゼンテーション
第13回	卒業制作テーマでのコンセプト立案
第14回	卒業制作テーマでのコンセプト立案
第15回	卒業制作テーマでのコンセプト立案

受講上の注意

出席重視

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	スモールグラフィック			教員名	塩谷 麗子		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	4402

授業目的と到達目標

文字とイラストの関連性、トレンドを意識したロゴやレイアウトを、商品デザインを作成しながら考えます。企画書として、文章、写真のレイアウトによってアピールすることで、デザインの見せ方を考えます。

授業概要

身近な商品デザインを作成。様々なデザイン業務に対応できるように、リサーチ、提案も含めて流れを学びます。ダミーサンプル作成、撮影後、企画書としてまとめます。使用ソフト Illustrator、Photoshop

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	現役のデザイナーにより、イラストと商品デザインを、リサーチ、提案も含めて指導します。
課題作成、提出、出席	100%	
	%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	スモールグラフィック			教員名	塩谷 麗子		
期区分	後期	曜日	木曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	4402

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	菓子パッケージ（イラストとロゴ） 制作デザイン ----- 「板チョコ2柄」
第2回	菓子パッケージ（イラストとロゴ） 制作デザイン
第3回	菓子パッケージ（イラストとロゴ） 企画書、ダミー作成、 次回課題説明
第4回	カードデザイン（イラストとロゴ） 制作デザイン ----- 「2色印刷カードの版下データ作成」
第5回	カードデザイン（イラストとロゴ） 版下データ作成
第6回	グッズデザイン（商品展開） 制作デザイン ----- 「カードデザインからグッズ展開」
第7回	グッズデザイン（商品展開） 企画書、ダミー作成、 次回課題説明
第8回	文具商品デザイン（企画提案） 制作デザイン ----- 「ポチ袋3柄（形状企画含む）」
第9回	文具商品デザイン（企画提案） 制作デザイン
第10回	文具商品デザイン（企画提案） 企画書、ダミー作成、 次回課題説明
第11回	クリスマス商品デザイン（キャラクターと商品展開） 制作デザイン ----- 「ペーパーバッグ、ペーパーカップ等」
第12回	クリスマス商品デザイン（キャラクターと商品展開） 制作デザイン
第13回	クリスマス商品デザイン（キャラクターと商品展開） 企画書、ダミー作成、 次回課題説明
第14回	文具商品デザイン（企画提案） 制作デザイン ----- 「ノート」
第15回	文具商品デザイン（企画提案） 企画書、ダミー作成

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	表現研究			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	3403

授業目的と到達目標

装丁・製本の種類や手順を学び、「畳む」「綴じる」表現方法と紙の種類やその他素材に触れ、しくみや質感を活かしたリーフレットやヴィジュアルブック、絵本を制作。

授業概要

◎製本の種類や手順、制作方法について◎素材、加工、表現方法につて◎

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「絵画・版画・造形などの作品制作と、イラストやデザインなどの仕事を通して得た経験を活かして、幅広く素材や画材に触れ、表現方法を活かした製本などの制作指導を行う。」
取り組みと作課題に対する評価	80%	
出席	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	表現研究			教員名	畑 卓也		
期区分	後期	曜日	水曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	3403

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス：カリキュラム説明。 絵本・編集・製本について。課題説明。
第2回	課題1「文庫本表紙装丁」 表紙デザイン案ラフ制作。制作方法の決定。
第3回	ラフチェック、表紙制作
第4回	ラフチェック、表紙制作
第5回	ラフチェック、表紙制作
第6回	製本
第7回	課題2「ビジュアルブック・絵本制作」 テーマ・内容・表現方法の決定、絵コンテ・アイデア スケッチの作成
第8回	絵コンテチェック、ラフ制作
第9回	本文作業。原画制作。
第10回	本文作業。原画制作。
第11回	本文作業。原画制作。
第12回	本文作業。原画制作。
第13回	本文製本
第14回	表紙制作。製本。
第15回	表紙制作。製本。

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	インフォグラフィック			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5402

授業目的と到達目標

数値、データ情報のビジュアル化であるインフォグラフィックを学ぶ。グラフを美しく楽しくグラフィックとして表現する。

授業概要

① [天王寺駅ポスター] 大阪メトロ天王寺駅より依頼。天王寺駅とその周辺をテーマに作成②動物についてのデータを取集し、それに基づきグラフィカルなインフォグラフィックを作成する。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
授業への取り組み	20%	
作品評価	80%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	インフォグラフィック			教員名	長尾 仁美		
期区分	後期	曜日	金曜日	時限	4-5 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	5402

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	天王寺ポスター
第2回	天王寺ポスター
第3回	天王寺ポスター
第4回	天王寺ポスター合評 次課題説明
第5回	OAC 学生広告 ラフチェック
第6回	OAC 学生広告 ラフ完成
第7回	OAC 学生広告 制作
第8回	OAC 学生広告 合評
第9回	学外授業
第10回	インフォ ポスターラフチェック
第11回	インフォ ポスター
第12回	インフォ ポスター
第13回	インフォ ポスター
第14回	インフォ ポスター
第15回	インフォ ポスター 合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	エディトリアルデザイン			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	1302

授業目的と到達目標

- インデザインを習得する
- フォーマットに沿ったデザインと抑揚のあるページネーションを学習する
- タイポグラフィによる表現の可能性を追求する

授業概要

InDesign による冊子の制作。タイポグラフィとビジュアル表現によるポスターの制作。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	長年にわたるグラフィックデザイン全般においてのデザイナー、アートディレクターとしての経験を元に指導します。
作品評価	80%	
取組み、授業態度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	エディトリアルデザイン			教員名	長尾 仁美		
期区分	前期	曜日	月曜日	時限	3-4 時限	形態	演習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	1302

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス InDesign 演習
第2回	InDesign 演習
第3回	InDesign 演習
第4回	エディトリアル制作
第5回	エディトリアル制作
第6回	エディトリアル制作
第7回	エディトリアル制作
第8回	エディトリアル制作
第9回	エディトリアル合評
第10回	ポスター制作
第11回	ポスター制作
第12回	ポスター制作
第13回	ポスター制作
第14回	ポスター制作
第15回	プレゼンテーション・合評

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	グラフィックデザインⅢ			教員名	中谷 吉英		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2306

授業目的と到達目標

前期コピーライティングの授業で企画した内容を、実際にビジュアルに落とし込み、プロの現場でも行われるデザインのプロセスを体験する。目的にあわせたアイテム展開まで含め、実践を通してビジュアルコミュニケーションを追求する。

授業概要

前期コピーライティングの授業と連携して行う「PROCESS！ 2つの授業を横断する思考と展開のデザインプログラム」同一課題のもと、後期ではロゴマーク・キービジュアル制作、各自企画内容に応じたアイテム展開。年内に制作は終え、残りの時間でドキュメント化（冊子）

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	「アートディレクター」の実務経験を生かして、「デザインのプロセスと楽しさ」を指導する
作品評価	70%	
取り組み、授業態度	20%	
遅刻・欠席	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（スライドで対応します）

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	グラフィックデザインⅢ			教員名	中谷 吉英		
期区分	後期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2306

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	プロジェクト説明・前期内容確認／ロゴマーク制作1（市場調査）
第2回	実例紹介／ロゴマーク制作2／個人面談
第3回	実例紹介／ロゴマーク制作3（完成・提出）
第4回	実例紹介／ロゴマーク講評／ビジュアル制作1
第5回	実例紹介／ビジュアル制作2（撮影※予定）
第6回	実例紹介／ビジュアル制作3（完成）
第7回	進捗プレゼンテーション／展開計画
第8回	アイテム展開1
第9回	アイテム展開2
第10回	アイテム展開3／プレゼン資料準備
第11回	最終プレゼンテーション・合評
第12回	プレゼン後修正作業／ドキュメント制作チーム分け
第13回	ドキュメント制作1／撮影
第14回	ドキュメント制作2
第15回	ドキュメント完成

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	職業実践プログラムⅡ			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2305

授業目的と到達目標

アドバタイジングにおけるコミュニケーションの考察。グラフィックデザイン業務における、個々のスキルの向上と実践に対応できる「戦える学生」の育成を目標とする。

授業概要

・基礎(基本)から応用にかけて実践を想定した学習を展開・作品計画は5W2H（訴求性）を意識し他者に伝わる表現を心掛ける・課題評価は合評時の提出物で行う（提出遅延 - 5点/週）・各作品のデータ管理は個々が行い、作品ファイル等に応用

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	芸術系大学卒業後 デザイン事務所を経て 1978 年 デザイン事務所 SPACE-Q を設立 40 年を超える 実務経験を持つ。商品及び空間(意匠・企画・開発・設計)に関する長年の多業種受託業務などから得た経験 を基に実践的な指導を行います。
製作物	60%	
企画提案	30%	
出席率	10%	
	%	
	%	

教科書

特に無し（手持ち資料で対応）

参考書・参考文献

特に無し（手持ち資料で対応）

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	職業実践プログラムⅡ			教員名	津田 光明		
期区分	前期	曜日	火曜日	時限	3-5 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	2305

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	◆スウィングPOP 与件の説明 大型店舗の食料品売場で展開する、新商品販促に伴うPOP提案を行う。(対象商品は自由設定) アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第2回	◆スウィングPOP 作品のプレゼンテーション (A3 企画提案書) 提出/合評
第3回	◆記念切手 与件の説明 グローバル化が進む中、海外への郵便も示唆した切手シートの企画を立てる。 テーマ:日本 提出物:ダミーモデル 企画提案書 A3 横置き 4/0
第4回	◆記念切手 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第5回	◆記念切手 作品のプレゼンテーション (ダミーモデル&企画提案書) 提出/合評 ※ (interpreterの特集タイトル選出)
第6回	◆阪堺電気軌道 与件の説明 販促を目的としたツールの企画提案。万博を控えインバウンドの外国人観光客も対象とした提案 提出物:販促ポスター B2 縦置き 沿線マップ A4 4/4 形式不問 チラシ A4 4/4 企画提案書 A3 横置き 4/0
第7回	◆阪堺電気軌道 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第8回	◆阪堺電気軌道 企画の構築と作業
第9回	◆阪堺電気軌道 各提出物作成→A3 企画提案書作成 作業
第10回	◆阪堺電気軌道 作品のプレゼンテーション (ダミーモデル&企画提案書) 提出/合評
第11回	◆季刊誌 与件の説明 新刊季刊誌「interpreter」の企画提案を行う。 提出物:ダミーモデル (季刊誌4冊:春夏秋冬 A 4 10mm厚 縦置き) 企画提案書 A3 横置き 4/0
第12回	◆季刊誌 アイデアラッシュ→素案の提示と初回チェック 作業進捗は毎回報告を義務とする
第13回	◆季刊誌 企画の構築と作業
第14回	◆季刊誌 モデル作成→モデル撮影→A3 企画提案書 作業
第15回	◆季刊誌 作品のプレゼンテーション (ダミーモデル&企画提案書) 提出/合評

受講上の注意

出席評価と、与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書・ダミーサンプルと表現的要素をもって評価とする。一度採点を終えた作品について、バージョンアップを目的とした再提出は、随時受け付けます

特記事項

※与件に対する創造的取り組みのプロセスと製作物に対する企画提案書・ダミーサンプルと表現的要素をもって評価とする。※ 課題は全て合評形式による発表とする

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD総括実習			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6201

授業目的と到達目標

グラフィックデザインの実社会感覚の課題により、デザインにおける大切な考え方を習得する。各個人の個性の発見と長所を伸ばす指導を行う。

授業概要

架空の企業やブランドを仮定して、商品や店舗の告知及び必要なグラフィックデザインのアイテムをトータルで考える。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	広告、グラフィックデザインの会社を経営し、現在もアートディレクターの実務を実践。デザイナーとして必要なスキルのアップ、発想の視点や構想等も指導していきます。
出席率	60%	
取り組む姿勢。授業態度	20%	
デザイン表現力	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD総括実習			教員名	高濱 敦彦		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6201

授業計画（各回予定）	
授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	各自架空の企業、ブランドのテーマ設定
第3回	各自架空の企業、ブランドのテーマ設定
第4回	資料収集
第5回	コンセプトプラン作成
第6回	制作媒体のプラン作成
第7回	デザインラフ作成
第8回	デザインラフ作成
第9回	デザインカンパ制作
第10回	デザインカンパ制作
第11回	プレゼンテーション演習
第12回	プレゼンテーション
第13回	各自追求するアイテムの制作
第14回	ポートフォリオ制作指導
第15回	卒業制作への計画発表

受講上の注意

特記事項

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD総括実習			教員名	平田 正行		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6202

授業目的と到達目標

グラフィックデザインの実社会感覚の課題により、デザインにおける大切な考え方を習得する。各個人の個性の発見と長所を伸ばす指導を行う。

授業概要

架空の企業やブランドを仮定して、商品や店舗の告知及び必要なグラフィックデザインのアイテムをトータルで考える。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	菓子メーカー勤務デザイナー20年、広告代理店24年の実務経験。グラフィックデザイナーとして、TVCF13本プロデュース、パッケージデザインを約800点、パンフレットやチラシなど印刷物も1,000点以上制作。広告代理店では、主に交通広告とサイン関係を年間500点余りプロデュース。その他あらゆる広告媒体の制作。教え方の基本として「売れるデザイン」を前提に指導します。
出席率	60%	
取り組む姿勢。授業態度	20%	
デザイン表現力	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD総括実習			教員名	平田 正行		
期区分	前期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6202

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス（前期の到達目標と取り組み方）
第2回	広告媒体の説明①（特徴および制作実例） マスコミ4媒体・インターネット広告
第3回	広告媒体の説明②（特徴および制作実例） プロモーションメディア広告
第4回	その他の卒制のテーマとなるデザイン（制作実例による説明）
第5回	ミニ課題（架空企業のブランドテーマ設定）
第6回	各自テーマの検討および資料収集
第7回	資料収集および市場調査
第8回	コンセプトプラン作成
第9回	制作媒体プランの検討
第10回	デザインラフ制作
第11回	デザインラフ案修正
第12回	プランとコンセプト、デザインラフ案、媒体選定の整合性を確認
第13回	デザインカンプ制作
第14回	デザインカンプ修正→出力
第15回	ミニ課題プレゼンテーション

受講上の注意

最初に広告の各媒体について説明をするので、自分がどういうものを作りたいかを明確にするので、集中して授業を受けること。

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD卒業制作			教員名	高濱 敦彦		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6203

授業目的と到達目標

GD コースの3年間の集大成として、卒業制作に取り組む。各自自由にテーマを設定し、コンセプトや媒体効果など実社会の観点を加味して指導し、個性的な作品を目指す。

授業概要

テーマは各自の長所と合わせて自由に設定し、資料収集から表現目標の素材を整理し、個人ごとに「伝える」「実感させる」「効果性」を組み立てて、完成度の高い作品へ指導していく。各自とのコミュニケーションを密にして、プレゼンテーション能力に自信をもたせる環境をつくる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	広告、グラフィックデザインの会社を経営し、現在もアートディレクターの実務を実践。デザイナーとして必要なスキルのアップ、発想の視点や構想等も指導していきます。
出席率	60%	
取り組む姿勢、授業態度	20%	
表現力。完成度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD卒業制作			教員名	高濱 敦彦		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6203

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス
第2回	各自テーマプラン作成
第3回	各自テーマプラン作成
第4回	各自テーマプラン作成
第5回	資料収集
第6回	資料収集
第7回	資料収集
第8回	コンセプトプラン作成
第9回	表現媒体のプラン作成
第10回	デザインラフ作成
第11回	デザインラフ作成
第12回	デザインカンパ制作
第13回	デザインカンパ制作
第14回	プレゼンテーション演習
第15回	プレゼンテーション（最終審査会）

受講上の注意

--

特記事項

--

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (1/2)

科目名	GD卒業制作			教員名	平田 正行		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6204

授業目的と到達目標

GD コースの3年間の集大成として、卒業制作に取り組む。各自自由にテーマを設定し、コンセプトや媒体効果など実社会の観点を加味して指導し、個性的な作品を目指す。

授業概要

テーマは各自の長所と合わせて自由に設定し、資料収集から表現目標の素材を整理し、個人ごとに「伝える」「実感させる」「効果性」を組み立てて、完成度の高い作品へ指導していく。各自とのコミュニケーションを密にして、プレゼンテーション能力に自信をもたせる環境をつくる。

成績評価方法・基準

教員実務経験

種別	割合	菓子メーカー勤務デザイナー20年、広告代理店24年の実務経験。グラフィックデザイナーとして、TVCF13本プロデュース、パッケージデザインを約800点、パンフレットやチラシなど印刷物も1,000点以上制作。広告代理店では、主に交通広告とサイン関係を年間500点余りプロデュース。その他あらゆる広告媒体の制作。教え方の基本として「売れるデザイン」を前提に指導します。
出席率	60%	
取り組む姿勢、授業態度	20%	
表現力、完成度	20%	
	%	
	%	

教科書

参考書・参考文献

参考 URL

2022年度 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校 授業内容（シラバス） (2/2)

科目名	GD卒業制作			教員名	平田 正行		
期区分	後期	曜日	土曜日	時限	2-4 時限	形態	実習
コース	グラフィックデザイン			年次	3	履修コード	6204

授業計画（各回予定）

授業内容	
第1回	ガイダンス（卒制にあたり工程および各自の工程管理の説明）
第2回	卒業制作のテーマ 各自検討
第3回	テーマの検討および資料収集、市場調査
第4回	資料収集、市場調査
第5回	コンセプトプラン検討
第6回	コンセプトプラン作成および媒体検討①
第7回	コンセプトプラン作成および媒体検討②
第8回	デザインラフ案ラフ案 検討
第9回	テーマ、コンセプト、使用媒体の整合性の確認（同時進行）
第10回	デザインラフ案ラフ案 検討および制作
第11回	デザインラフ案ラフ案 制作
第12回	デザインラフ案ラフ案 修正
第13回	卒制プレプレ
第14回	デザイン修正→出力→貼り込みなど完成型を制作
第15回	卒業制作プレゼンテーション

受講上の注意

卒業制作にあたり、皆さんがテーマ決定の時期が例年遅い状況です。自分自身がやりたいことを決めなくては、前に進みません。早くテーマを決めてスタートしなければ、制作の時間が無くなりますので、注意してください。

特記事項

--